

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 4 月 30 日 (2015.4.30)

【公開番号】特開 2013-223058 (P2013-223058A)

【公開日】平成 25 年 10 月 28 日 (2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報 2013-059

【出願番号】特願 2012-92679 (P2012-92679)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/74 Z

G 0 3 B 21/00 D

G 0 9 G 5/00 5 1 0 V

G 0 9 G 5/00 5 1 0 H

G 0 9 G 5/00 5 5 0 X

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 17 日 (2015.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

図 4 は、プロジェクター 2 0 0 の機能構成を示すブロック図である。プロジェクター 2 0 0 の制御部 2 1 0 は、受付部 2 1 1 と処理実行部 2 1 2 とに相当する機能を実現する。受付部 2 1 1 は、ユーザーによる操作と、プロジェクター 1 0 0 からの命令とを受け付ける手段である。受付部 2 1 1 は、赤外線受信部 2 4 0 が受信した操作信号に応じたキーコードを赤外線受信部 2 4 0 から取得し、取得したキーコードに対応する操作を特定することにより、ユーザーによるリモコン 4 0 0 を用いた操作を受け付ける。また、受付部 2 1 1 は、通信部 2 5 0 を介してプロジェクター 1 0 0 からの命令を受け付ける。処理実行部 2 1 2 は、受付部 2 1 1 により受け付けられた操作に応じた処理を実行する手段である。ただし、処理実行部 2 1 2 は、記憶部 2 2 0 に記憶されたモード情報を参照し、記憶部 2 2 0 に記憶されているモード情報に応じて、実行する処理を異ならせる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

一方、ユーザーが第 3 の方法で操作した場合 (S 2 4 : NO)、制御部 2 1 0 は、自装置を起動するための処理を実行する (ステップ S 2 5)。このとき、プロジェクター 2 0 0 は、単独で起動する。すなわち、プロジェクター 1 0 0 は、このとき起動しない。また、このとき制御部 2 1 0 は、モード情報を書き換えない。